

「福井しあわせ元気」国体・障スポ敦賀市大会報告書 ～発刊にあたって～

福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会敦賀市実行委員会

会長 敦賀市長 **淵上 隆信**



50年ぶりに福井県で開催されました第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」、福井県で初開催されました第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」は、全国各地から選手・監督の皆様をはじめ、多くの大会関係者、観覧者の皆様をお迎えし、数多くの出会いと感動、思い出を残し、盛会のうちに幕を閉じました。

敦賀市におきましては、福井しあわせ元気国体の正式競技6競技、デモンストレーションスポーツ2競技、そして、福井しあわせ元気大会の正式競技2競技の全10競技を開催し、全日程を無事に終了することができました。

これもひとえに、両大会の準備・運営に携わっていただきました、関係機関・団体の皆様をはじめ運営サポーターの市民の皆様のご尽力のおかげと深く感謝いたします。

福井しあわせ元気国体では、大会期間中に2度の台風接近に見舞われ、仮設物・掲出物の一時撤去、一部競技で日程の変更やおもてなしエリアの縮小などを余儀なくされました。しかしながら、運営に関わるスタッフが一丸となって対策を講じ、各競技を無事に実施することができました。

各競技会場や駅周辺等には、市内の小中学校の児童生徒が制作した手作り応援のぼり旗や高校生による歓迎フラッグ、市民の皆様に育成していただいた花プランター等による装飾など、市民総参加のもと、訪れた多くの選手・監督や大会関係者、観覧者の方々を「人道の港 敦賀」の温かなおもてなしの心でお迎えいたしました。

また、観客席には5,000人を超える小中学校の児童生徒をはじめ、多くの市民の皆様の熱気あふれる応援により会場は大いに盛り上がり、福井県に50年ぶりの天皇杯・初の皇后杯の獲得をもたらす等、素晴らしい大会となりました。

本報告書は、この両大会の輝かしい記録・記憶と市民一丸となり取り組んできた軌跡を後世に永く伝えていくために作成いたしました。

この両大会で得た貴重な経験や市民総参加で取り組んだおもてなしの活動を、今後の敦賀市のスポーツ振興をはじめ、市民が主役のまちづくりにつなげていきたいと考えております。

結びに、両大会の開催に向け、ご支援ご尽力いただきましたすべての皆様に心からの感謝を申し上げ、発刊にあたってのあいさつといたします。